

YIC 利用案内

行政相談 (毎月 第3日曜日)

13:00-16:00(要予約)



ビザ(在留資格)の申請・変更、在留期間の更新、永住申請、国際結婚、国際離婚、日本国籍取得、帰化申請など行政手続きに関する相談。

平成30年度 相談日 (行政相談)

2018年 5月20日(日) 6月17日(日) 7月15日(日)
8月19日(日) 9月16日(日) 10月21日(日)
11月18日(日) 12月16日(日)
2019年 1月20日(日) 2月17日(日) 3月17日(日)

賛助会員

YICの活動に賛同いただける賛助会員を募集しております。是非ご入会頂き、多くのご支援ご協力を賜りますようお願い致します。

◆年度会員制 ◆賛助会員特典あり

◆会費：個人一口 3,000円 団体一口 10,000円

生活相談

開館時はいつでも受付



生活で困っていること、日本文化で分からないこと、どこに相談すればいいか分からないこと...etc.YICスタッフがうかがいます。

通訳翻訳

YICに登録するボランティアが、日本語から外国語、または、外国語から日本語への翻訳をお手伝いします。

◆翻訳料:1枚(800字程度)につき 2,000円

☆翻訳ボランティアは随時募集中です。どの言語でも登録できます。

日本語サークル利用者数(平成29年3月~平成30年2月)

四日市市外国人人口数(平成30年2月28日現在)

| | | |
|----------|--|----------|
| 活動実数 | ボランティア先生181名 | 学習者 378名 |
| 授業延べ回数 | 4072回 | |
| 学習者地域別 | アジア88%、南米5.8%、北米2.5%、EU2.5% | |
| 学習者在留資格別 | 就労関係63%、永・定住14%、家族滞在12% 配偶者4%、留学3%、その他4% | |
| 学習者年齢別 | 20代57.4%、30代27.4%、40代5.9%、50代2.5% 60代1.7% | |

| 国籍 | 人数 | 割合 | 国籍 | 人数 | 割合 |
|-------|-------|-------|------|---------|-------|
| ブラジル | 2,192 | 24.6% | その他 | 2,218 | 24.9% |
| 韓国 | 1,500 | 16.8% | 総合計 | 8,921 | |
| 中国 | 1,499 | 16.8% | 市総人口 | 312,049 | 2.9% |
| フィリピン | 803 | 9.0% | | | |
| ベトナム | 709 | 7.9% | | | |
| 上位合計 | 6,703 | 75.1% | | | |

よっかいちこくさいこうりゅう
四日市国際交流センター

Yokkaichi International Center

〒510-8601三重県四日市市諏訪町1-5四日市市役所北館5F

【TEL】059-353-9955 090-6572-9440

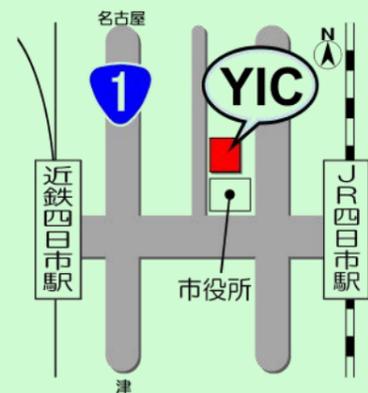
【FAX】059-355-5931

【E-mail】yic@yokkaichi-shinko.com

【URL】http://www.yokkaichi-shinko.com/yic/

【開館】9:00~17:00(月曜日、祝日、年末年始は閉館)

Find us on Facebook



国際交流ニュース

SALVIA



No.65/2018.4

発行
公益財団法人四日市市文化まちづくり財団
四日市国際交流センター
Yokkaichi International Center

平成29年度 YIC日本語サークル発表会



現在、約20カ国の外国人が、YIC日本語サークルにて日々熱心に日本語を学習しています。平成30年3月11日(日)、日頃の学習の成果を13人の学習者が様々な表現方法で発表しました。終了後、発表者と参加者が昼食をしながら交流を深めました。

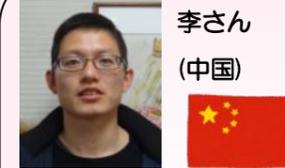


ランさん
(カンボジア)



【カンボジアについて】

緊張しました。特にクメール語を日本語で説明するのは難しかったです。先生に助けてもらって資料作りをしました。他の人は日本語もうまくて、スピーチを覚えてやっているのはすごかったし、合唱は楽しそうでした。



李さん
(中国)



【日本語との出会い】

色々な国の話を聞く事は見識が広がります。みなさんの話をする方法は自分にとって参考になります。発表会の交流会で食事をし、話をする機会があると、ゆっくり長く話せるので有意義です。



オンさん
(ベトナム)



【一旗あげる】

最初は緊張しましたが、楽しかったし、うれしいです。みなさん上手ですね。でも発表会に出ることは大変勉強になりました。



タリカさん
(タイ)

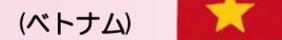


【日本語のべんきょう】

緊張したけど、うれしかった。タイ人が自分の周りにいなくさみしかったが、今日はたくさんの方がいっぱいいるのでうれしい、安心しました。



トアさん・ロアンさん・
タインさん・マイさん・
ピンさん



♪【幸せなら手をたたこう】

皆さんの前で歌を歌うことは楽しかったです。でも練習は昨夜やっただけでしたけど…。ベトナムで日本語を習っているときに「花火大会」という日本語の歌をみんなでつくりました。今度はそれを歌いたいです。



ナナさん
(台湾)



【台湾と日本の違い】

発表の感想は、「緊張してしまって、静かに聞いてくださっている皆さんの雰囲気怖かった」ということになります。他の発表者の方もすごくまじめで、ボリュームもあってすごかったです。



リンゴさん
(台湾)



【日本に来てから今まで…】

日本人の中に一人で仕事をし、必死に敬語や関西弁・作法などを身に付けてきました。それを生かすことができてよかったです。



タウィットさん
(タイ)



【成せば成る】

ほかの人の発表を聞いていろいろな考え方を知り、感心・感動しました。自分の発表については、もっと言いたいことがあった。「成せば成る」のもっと本質的なことも伝えたかったがもうひとつできなかったと感じました。

講評ボランティア：箕浦芳範さん

いろいろな違う国の人たちが日本語を通して交流している姿を見るのは楽しいことです。リンゴさんのように日本語で仕事をするということは、生きた日本語を勉強ができ、検定試験よりももっと有効なのかもしれないですね。接客は日本人の心ですからね。

YIC日本語サークル

四日市国際交流センターでは、日本語ボランティアと外国人学習者が日本語を勉強する「YIC日本語サークル」を毎日開催しています。学習者のニーズに合わせてマンツーマンで勉強しています。

私のボランティア活動



坂田八重さん(写真の学習者さん:レさん、ヌーさん)

お二人を担当させていただいて半年がたちます。人に教えた経験のない私は、彼女たちが楽しく学べる雰囲気づくりを意識して、テキスト学習の合間に会話の時間を多くとるように心がけています。今では、母国の食文化や流行について、身振り手振りにスマホまで活用して、積極的に話しかけてくれます。日本との違いに驚かされたり笑ったりしながらも、7月の日本語能力N3試験に向け、三人で力を合わせて楽しく学んでいこうと考えています。

藤木幹也さん(写真の学習者さん:ミーさん、フェさん、ノフィさん)

YICにご縁を得て、いつの間にか6年を迎えます。学習者さんは延べ13名で、いろんな国の方とお付き合いをさせていただいています。連日の残業で、“ヘトヘト”なのに、週1度の休日に、貴重な時間とお金を使って勉強に来る姿に、深く感じています。教室では、問題集のほか、国語の教科書、自作の資料“あいさつの言葉”などの勉強をしています。また、自分で調べる自主性を重んじています。私が大切にしていることは、互いに信頼関係を持ち、学習意欲を向上させることで、ひいてはYICに来てよかった！日本に行ってよかった！と、それが生涯の糧(かて)となるようにと願って進めています。



おもしろエピソード



おおきに!

渡邊伸人さん・知子さん

私たち夫婦は、住み慣れた大阪を離れ数年前に四日市に引っ越し、ボランティアをさせて頂いて二年が経ちます。日本語は、ひらがな、カタカナ、漢字、外来語などの表現方法があります。理解してもらおうと熱が入るあまり「ちゃう、ちゃう」「～やねん」とコテコテの関西弁が飛び出します。まずそれを標準語に置き換えて勉強する毎日です。帰りの挨拶は親愛をこめて「ほななあ～」と言います。ちなみにこれは標準語で「じゃあ、またね～」です。難しい日本語プラス関西弁を分かってくれる彼女たちに感謝です。「おおきに!!!」

床屋の王さん

秋月 享さん



中国大連出身の王さんは、自分の人生をステップアップさせようと考え、日本語を勉強するためにYICにやってきました。わたしはその頃定年退職をしてボランティアをしていましたが、もう現役ではないため、身も飾らず髪もボサボサで平気で人前に出ていました。ある日、そんなわたしを見た王さんは「先生、散髪します。(先生の)毛を切ります」と言い出しました。私がわけもわからず困っていると王さんは「中国で床屋をやっていた」と！その後、王さんは帰国するまで数ヶ月の間、私のプライベート床屋として髪をカットしてくれました。N3にも合格しYICの日本語発表会でも特別優秀賞を取り元気に大連へ帰っていききました。

数字の読み方

塚原佳代子さん



レッスンの中で少しずつ数字の読み方、言い方を取り入れた時の事です。先週100まで、今週1,000までやって「来週10,000までやろう」と思っていて、その来週になった時に10,000をやろうとしたら、ガリバさんが「わかります。じゅうせんです」と言いました。「じゅうせん?十銭?」と困惑していると、「(英語で)だって、10,000なら十と千でしょ?」と。確かに英語を話す人であれば「1千がone thousandなら1万はten thousand」と考えますよね。ガリバさんの国の言葉でも英語と同じように表すそうです。その後説明をして「日本語は難しい」と笑っていました。

昨日の出来事

新玉久美子さん



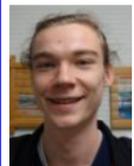
私とニキタさんが日本語サークルを始めたのは、去年の冬でした。彼女は、いつもマジメに考えて発言しようとする魅力的な人物です。ある時、自分の身の回りで起こった出来事について描写し、それについて自分はどう感じたかを述べてもらうレッスンを始めたときでした。急に彼女が何も言わなくなったのです。じゃあ、作り話でもいいよと言っても、何も言いません。困った私は、昨日の身近な出来事を語ってもらうことにしました。いろいろ昨日の出来事を語ってもらった後に「それについてどう思ったの?」って聞いてみたら、「これは作り話なので、先生の感想を聞きたいです。」と言われました。わー、一本とられたなって思いました。

学習者紹介

- ①なまえ
- ②国名
- ③日本に来ておどろいたこと
- ④日本語で好きな言葉



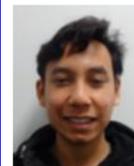
- ①クリステン
- ②アメリカ
- ③とても静かで、特に夜は平和な感じ
- ④「赤ちゃん」(小さくて赤いなんてとてもかわいい)「そうか…」(I see以外にもいろいろな意味がある)



- ①ジェイク
- ②イギリス
- ③自転に乗るときヘルメットが必要でないこと
- ④「ギリギリ」「ピカピカ」「バラバラ」といった擬態語または擬音語(会話が生きて楽しくなるから)



- ①ディギー
- ②インドネシア
- ③車やバイクが、信号がないところで、歩行者に道を譲ること
- ④「自画自賛」(成長するためには、自分をほめてはいけません?)



- ①クルニア
- ②インドネシア
- ③みなさんが順番に並んでいること・ごみを持ち帰ること(ごみ箱がないとき)
- ④「礼」(いつもお礼をする。結果仲良くなれる)



- ①アンナ ②ウクライナ
- ③日本の技術が進んでいること(新幹線、地下鉄等)・街がきれい・人が親切
- ④「いただきます」「いってらっしゃい」「いってきます」(ウクライナでも昔はあったけれど今はなくなってしまいました)



- ①ドイ
- ②カンボジア
- ③日本人の先輩がしゃべる方言が全然わからなかったこと「やっといて!」「あかん!」etc
- ④「雪」(カンボジアでは雪が降らないから)



- ①ティナジェ
- ②ジンバブエ
- ③お客さまへのサービスが親切で、まじめ。そして一生懸命に働いている
- ④「なんでやねん」(日本語の方言が楽しい)



- ①プッティダー
- ②タイ
- ③マスクをしている人がたくさんいる
- ④「…ください」(なんでもっていい言い方になるから)



- ①陳 ②台湾
- ③日本人の努力、自分の仕事に誇りを持ち、まじめに、熱心に仕事をする姿に驚きました
- ④「人生とは自転車のようなものだ。倒れないようにするには走らなければならない」(日本人がどんなことにも努力をし、最善を尽くす態度が好きだから)



- ①王
- ②中国
- ③街がきれい。日本人が親切。物価が高い
- ④「どうぞよろしくお願いたします」(礼儀正しい言葉だから)



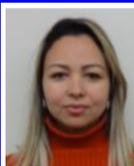
- ①ゴマ ②ネパール
- ③ネパールではみんな家族で住んでいるが、日本では仕事の関係で遠いところで別々に住んでいる人がいる
- ④あいさつ(ありがとう等々、優しい気持ちになれる)



- ①スマイヤ
- ②バングラデシュ
- ③道路を人があまり歩いていない(バングラデシュでは歩道、車道問わず人がたくさん歩いている)
- ④「さくら」(英語ではCherry blossom.日本語はかわいい)



- ①オズワルド
- ②フィリピン
- ③通信システムが進んでいる。食べ物おいしい(タコ焼き、お好み焼き、寿司、焼き肉)
- ④「お花」(花が好き)「おはよう」(最初に覚えた言葉)



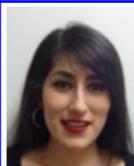
- ①ノブサワ
- ②ブラジル
- ③店員さんの丁寧なあいさつ。焼肉屋で自分で肉を焼く。みんなで掃除する(会社、マンション、地域)。時間に正確
- ④特になし



- ①ロン
- ②ベトナム
- ③日本人は親切。交通が便利でどこへでも行ける
- ④「ありがとうございます」(いろいろサポートしてもらってうれしいから)



- ①ナム
- ②ベトナム
- ③環境が良くて空気がきれい。交通が便利
- ④「がんばります」(一生懸命やらなくてはと自分も思えてくる)



- ①ダニエラ
- ②ポーランド
- ③どこへ行っても「きれい」(トイレのふたも自動がある)
- ④「休み」(いつも忙しいから。子供の世話も休みになったら最高!)



- ①ニーニー ②ミャンマー
- ③日本では墓が実際に住んでいる家の近くにもあることです。(ミャンマーではお墓は怖いイメージ)
- ④「ありがとう」(はじめて覚えたことばでもあり感謝の気持ちを表せるから)



- ①プーティップ
- ②ラオス
- ③ラーメンがおいしかったこと(ラオスにもあるが日本がおいしい)
- ④「かわいい」(日本にはかわいい女性が多い。またいろいろの意味で使える)

平成29年度 イベント

平成29年度は11回のイベントを開催し、たくさんの方に参加していただきました。おもなイベントをピックアップしてご紹介します。平成30年度も、より多くの面白いイベントを計画しております。皆さんの継続的なご支援とご協力をお願いします。



【コーヒープレイク】ガーナ 2017年7月15日 参加者30名

ガーナ出身のガリバさんが、民族衣装から特産であるココアや結婚式のしきたり・郷土料理を紹介してくれました。イベント終了後は、コーヒーとチョコレートで講師と参加者の交流を深めました。

(参加者からの感想)

- ウェディング・クッキングなど親しみやすいテーマで、民族衣装も見せていただいてとても良かった。
- 四日市に居ながら世界旅行をしている気分になりました。またこのような企画をお願いします。
- ガーナの文化について知ることができて良かったです。

浴衣で大四日市まつり 2017年8月6日 参加者30名

着付けの先生が、外国人参加者に自分で浴衣が着られるように指導していただきました。姉妹都市ロングビーチから来たトリオの3人も参加して、そのまま浴衣を着て大四日市まつりへ繰り出しました。

(参加者:ズンさんの感想)

本当に楽しかったです。私は着付けのモデルをしましたが、初めての経験でとても楽しかったです。恥ずかしくはありませんでした。浴衣の着心地は、すこし窮屈でした。帯がきつかったです。あと、裾がびっちりしていたので歩きづらかったです。イベントはとても面白く、興味深かったです。



【国際理解イベント】二胡演奏会&中国福建省紹介 2017年10月28日 参加者21名

日本語サークル学習者である施娟娟さんの二胡ユニットの演奏と施さんの夫である王さんにより中国福建省を紹介していただきました。参加者が演奏に合わせて合唱したり二胡の体験をするなど多彩なプログラム構成でした。また、プログラム途中での烏龍茶と茶菓子の提供も非常に好評でした。



(出演者:施娟娟さんの感想)

日本で日本の友達と一緒に中国の楽器、二胡を合奏しました。とても楽しかったです。初めて二胡の素敵な音色を間近に感じながら演奏できました。音楽は国境を超える。もっと多くの人たちへ音楽の素晴らしさや楽しさを伝えたいです。



【国際理解イベント】「DON'T BURN」上映会 2017年11月5日 参加者87名

現在、日本語サークルで学習しているベトナム人は70名を超え、全体の40%を占めています。彼らの祖国で起こったベトナム戦争中の実話に基づく映画をご覧いただき、「人と人のつながり・愛情・慈しみの気持ち」などを感じ取っていただきました。

(参加者からの感想)

- 初めてベトナム映画をみました。現在の世界で起きている戦争について考えさせられました。
- 今が心に響きました。今がいかに幸せであるかということ。ベトナム戦争が私の生きる時代にあった。つい最近のことという思いがふれて来ました。

新春イベント「書と箏のコラボレーション」 2018年1月20日

参加者33名



新春イベントとして、日本の伝統文化である「書道」と伝統楽器である「箏」のコラボレーション。麗明智翔さんの演奏に合わせて、書道家の大宝瑞舟さんが歌詞や曲をイメージする文字を書いていただきました。終演後は、外国人向けの書道教室も開催しました。



(出演者:大宝瑞舟さんの感想)

『書』をデモンストレーションで見せるのは初めてでしたが、思ったよりスムーズに思い通りに筆を運ぶことができました。過去、詩吟とのコラボレーションはよく見かけますが楽器と『書』はなかなかなかったので、『箏』の演奏者も素晴らしく、演者として感動しました。自分の中で素晴らしい経験になりました。アンケート等、身内からの反響も好評だったのでとても嬉しく思っています。そして、このイベントを企画進行していただいたYICのスタッフの方々に感謝しています。

KUNI-KENトーク&ライブ 2018年2月17日

参加者215名

津軽三味線奏者として日本のみならず海外にも活動の幅を広げている四日市市の観光大使KUNI-KENによるトーク&ライブを開催しました。司会に山本浩之さんを迎え、二人のマンマーマやフランスなどの公演活動を引き出していただきました。公演2週間前にチケットは完売し、計画の2倍を超える入場者で大盛況の催事となりました。

(出演者:KUNI-KENの感想)

自分たちが海外で経験してきたことが、演奏するだけでなく、動画や写真を用いて、司会者も立ててみなさんに紹介できる。こんな素敵な機会に恵まれたことに感謝しています。自分たちの活動も改めて見直すことができました。(KUNIAKI)

国際色ならではの1日でした。普段なかなか伝えられない部分も今回のイベントで知っていただく機会となりました。僕たちは音楽で交わっています。海外の人たちにもっとKUNI-KENを知ってもらいたいと改めて気持ちも高まりました。(KENJI)



平成29年度 外国語講座



平成29年度の外国語講座は、前期・後期の二期にわたり、英語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・中国語・ベトナム語の講座を行い、279名が受講しました。平成30年度は、三期に分けてタイ語の入門講座や海外旅行で役立つ英語やポップカルチャーを教材にしたコースなどを新たに設けます。



平成29年度『スペイン語入門』、平成30年度『初めてのスペイン語』 担当リリアナ・アルバラン先生

YICで5年ぶりにスペイン語を教えることができ楽しかったです！私が担当した授業では生徒さんが少なかったのが教えやすかったです。日本人の方のスペイン語はきれいで素敵な発音ですね。30年度は、生徒の方にもっとスペイン語で会話してもらえるように挨拶と簡単な動詞を学んでいただくつもりです。スペイン語は世界のたくさんの国で話されています。アメリカでもスペイン語を話す人がたくさんいます。スペイン語はラテン語由来の言語なので、イタリア語やポルトガル語にも似ていますよ。ぜひ、YICでスペイン語を楽しく学びましょう！
Te invitamos a aprender español en YIC! Será divertido!

YICのラウンジ壁面を利用して、プチ展示会を行いました。「ちぎり絵」「粘土」「書」「絵手紙」「能面」「竹画」などの作品を月替わりで展示しました。展示出展者の募集を随時受付しています。どうぞ、お気軽にお問い合わせください。



ちぎり絵 絵てがみ 能面 書



ラウンジ展示

TRIO2017

四日市国際交流センターでは、四日市市からの委託を受け、姉妹都市米国ロングビーチ市との交流事業を行っています。平成29年度は、ロングビーチ市から高校生2名と教師1名(通称「トリオ」)が来日、約20日間四日市市に滞在しました。



Marybeth Murray
メアリベス マレー

私の教育者(教師)としての目標は、子どもたちに最高の学習経験と教育の機会を与えることです。四日市での滞在は、私の人生において素晴らしい体験であり、生徒たちにこの経験を伝えています。

笑顔でウェルカム横断幕を持つ四日市の関係者に迎えられ、今回のトリオプログラムは始まりました。森市長への表敬訪問や市制120周年記念式典への出席をはじめ、日本の食や教育、文化や歴史学習



四日市市長・市議会議員への表敬訪問

など、毎日、刺激的で、新しい経験をすることができました。そして、私たちを受け入れていただいた素晴らしいホストファミリーの皆さんや友達との出会い、学校や地元企業を訪問して深めた親交は、どれもとても貴重な経験であり、生涯続くものと思います。

日本から帰国してから、改めて日本文化の良さを理解するとともに、私が勤める学校の生徒と四日市で出会った生徒の間で文通を行いたいと思っております。最後になりますが、四日市の皆さんとの交流や友好関係が、将来にわたり続いていくことを切に願っております。



Aidan Harper
エイデン ハーパー

四日市は、僕がこれまでに訪れたことのある場所の中でも、最高の場所のひとつです。

僕は、これまでにヨーロッパ各地を旅行したことがあり、自身の旅行経験は豊富な方であると感じていました。しかし、トリオプログラムへの参加後、これまで、とても大切な何かを見逃してきたように感じました。

外国人にとって、四日市は大都市である東京や大阪のように幻想的なネオンライトがきらめく場所ではないので、訪問先の候補に挙がらないかもしれませんが、ところが、まちの魅力は表面的な装飾ではなく、そこでの体験や感じ方、そこに住む人々との出会いであることが分かりました。四日市にはフレンドリーな人たちが多く、自然豊かな田舎まちとしての魅力だけでなく、地場産業を中心とした産業都市としての魅力がありました。

トリオプログラムに参加し四日市で3週間過ごしたことで、私は新しい考え方や経験を培うことができ、将来の世界観が変わったと感じています。また、とても報いることができないほどのおもてなしをしていただいた四日市の皆さんに感謝しています。



暁高等学校(6年生)でのクッキング体験



市内案内ボランティアの高校生とあすなろう鉄道に乗車



浴衣を着て大四日市まつりに参加



Lily Brossus
リリー ブロッサス

昨夏の日本での経験は、私にとって大きく成長する機会になりました。これまでアメリカ国外に出たことのない私にとって、四日市は初めての海外訪問の思い出となりました。日本では、古くからの文化が守られ、日常生活の中にそれを垣間見ることができました。また、日本の歴史を忍者屋敷から高層ビルを通して見い出したり、茶道体験や新幹線の乗車等、すべてがエキサイティングでした。また、とても美しい金閣寺や伊勢訪問は忘れることができない思い出になりました。

しかしながら、このトリオプログラムに参加して一番良かったことは、親切な人々との出会いです。特に、家族の一員として私を受け入れてくれたホストファミリーは、部屋を快く提供するだけでなく、日本の生活や文化を共有してくれました。

そして最大の成果は、毎日、日本語を話すことで、ホストファミリーをはじめ案内人や高校生が話す会話や市長への表敬訪問の際に日本語の会話を理解するまでになったことです。

四日市での経験は私の世界観と私自身を変えてくれました。今後も四日市で過ごした時間を永遠に大切にしていきたいと思います。皆さんの優しさと、美しい国を私に共有していただいたことに感謝しています。



川越高等学校での空手体験



Host Family

今井家

今回、ホストファミリーの企画を知り、私自身や子どもたちが外国人と触れ合う良いチャンスだと思い、受け入れさせてもらうことにしました。英語がほとんど話せない私たち家族のところに来てくれる期待と嬉しさ半分、不安半分の気持ちでした。

私たちのところに来てくれた学生は、17歳の男子、エイデン。日本語を勉強して日本に興味を持ち、日本をもっと深く知りたいという大きな希望と期待を持って日本に来てくれました。私たちは、エイデンに「もっと日本を好きになってもらいたい!」「日本で素敵な思い出をつくってもらいたい!」という気持ちで過ごしました。価値観や生活習慣が違う中で、家族全員がエイデンの気持ちに寄り添い共有して過ごした9日間は、とても貴重な時間でした。

ホストファミリーをさせていただいた体験やエイデンとの出会いにより、子どもたちの世界観が変わったと思います。「言葉の壁が少々あっても気持ちで通じるものだ!」と思うと同時に、もっと英語を勉強してエイデンや外国の人々とも繋がっていきたいと感じました。エイデンがこれからどのような道に進んでいくのか、我が子のように楽しみにしています。